

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成30年 07月 31日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府福知山市長田野町二丁目2番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 武田ヘルスケア株式会社 代表取締役 石田 徹

環境マネジメントシステムの名称	環境マニュアル JIS Q14001:2015/ISO 14001:2015
適用範囲	武田ヘルスケア株式会社でのあらゆる活動、製品及びサービス
導入年月日	<登録日> 平成19年 11月 16日
認証番号	07ER-674
基本方針	2018年度 環境保全方針 (1)環境問題への基本的取り組みの推進 (2)廃棄物の分別による適正処理 (3)省エネルギー、省資源の推進 (4)教育・啓発活動の推進 (5)地域社会への貢献
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<2018年度 環境目標> 1. 環境問題への基本的取り組みの推進 ・法規制の順守 「環境法規制等登録表・順守状況表」に登録した法規制を100%順守する 2. 廃棄物の分別による適正処理 ・ゼロエミッション リサイクル処分化を推進する 3. 省エネルギー、省資源の推進 ・省エネルギー及び省資源 省エネ・省資源活動を積極的に推進する
目標を達成するための取組の内容	1. 環境問題への基本的取り組みの推進 ・環境保全方針の周知教育 ・年間を通じたマニフェストの返却期限管理 ・法規制 定期 不定期届出業務管理表を用いた届出管理など 2. 廃棄物の分別による適正処理 ・廃棄物の分別等に関する手順書の順守と周知教育 ・両面コピー、集約印刷、コピー用紙のリサイクル使用 ・現状の廃棄物の最終処分実態調査、処分集計見直しなど 3. 省エネルギー、省資源 ・省エネ機器への更新検討提案 ・省エネタイプコンプレッサーへの更新 ・倉庫照明のLED化、全員参加の環境活動手順書の順守など
目標を達成するための取組の進捗状況	2017年度のISO活動は、ISO14001:2015規格への移行に併せて、EHS活動に統合し、環境活動を推進する運用に変更するため、「環境マニュアル」及び「実施計画書(環境保全)」などの様式類を見直し、2017年4月より、ISO2015年版で運用を開始、環境保全としての全部門の取り組み件数は、103件(ISO活動としては、38件あり3件が未達)の実施項目について取り組みを行なった。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	1. 全社 1)法規制も順守 「環境法規制等登録表・順守状況表」に登録した順守状況は、100%順守できていることを確認した。 2)リサイクル使用の推進 排水脱水汚泥を除いたリサイクル率は、目標60%維持に対し、57%と未達となった。 2. 各部門 中期計画から設定した有益な環境目標が3部門、未達成であることを確認した。 ・総務部:就業管理システム(ICカード等の導入)・・・未達成 ・品質部:UPLCを用いた試験法を製品技術製品センターからスケジュール通り引継ぐ・・・未達成 ・製造部:ヒューマンエラーの撲滅・・・未達成 ・技術部:廃棄物の削減(第1工場糖衣廃液)・・・達成
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規制の順守状況を定期的に評価するため、半期ごとにEHS事務局が「環境法規制等登録表・順守状況表」に従い、順守評価し、EHS事務局部門長に報告する。 平成29年度は、順守状況に問題は無かった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境目標に未達成な項目はあるが、EMSの運用そのものは、問題ないと判断する。しかしながら各部門が取り組む件数が多いことから、2018年度活動は、有効性・実効性を考慮した取り組みに見直し、ゼロエミッション化の推進及び省エネ委員会を立上げ、積極的に省エネ活動を推進する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。